

## 会 議 録 (概要)

会議の名称	令和元年度第1回図書館協議会
開催日時	令和元年5月28日(火) 13時35分開会 16時05分閉会
場所	佐渡市立中央図書館 講座室
議題	(1) 平成30年度佐渡市立図書館(室)事業実績について (2) 令和元年度佐渡市立図書館事業計画について (3) 平成30年度佐渡市子ども読書活動推進計画評価について (4) 佐渡市図書館ビジョンについて (5) 今後の事業計画等について (6) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	○ 佐渡市図書館協議会委員 会 長 木村 和夫 副会長 関根 良子 委 員 大橋 幸喜 本間 秀子 瀧川 紀子 小松美知乃 ○ 事務局(教育委員会 社会教育課 中央図書館) 教育長 渡邊 尚人 課 長 金子 雅晃 館 長 源田 俊夫 係 長 中濱 智子 主 事 本間 春菜
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	—
備考	—

会議の概要(発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
渡邊教育長	1 開会  あいさつ

	<p>◎委嘱状交付</p> <p>◎自己紹介</p> <p>◎会長、副会長選出 (推薦により木村委員が会長、関根委員が副会長に選任された)</p>
木村会長	あいさつ
関根副会長	あいさつ
	<p>2 議題</p> <p>(1) 平成 30 年度佐渡市立図書館・図書室事業実績について</p>
中濱係長	資料説明
瀧川委員	<p>3 ページの移動図書館の状況について。</p> <p>4 方面に行っていますが、学校統合前まで来ていたところの移動図書館の依頼はないのですか。</p>
中濱係長	<p>今は遠隔地のサービスということで、この方面としています。</p> <p>中心部の学校や保育園は移動図書館車が行く機会が無く、実際走っているのも見たことがない、という子どもたちもいます。イベントなどで活用できればいいなと思っています。</p> <p>4 月末に佐和田の本町にある本のイベント「本の森」は移動図書館車で行っています。</p>
木村会長	<p>3 ページの相互貸借で、県立関係が非常に増えました。これは、今までは時間的に厳しかった方たちや、休みに学生が、ここにはないから図書館に頼んで取り寄せてもらった、というような事情なのではないでしょうか。100 冊変わるの相当だと思います。</p>
中濱係長	<p>今、若い方はインターネットで自分の読みたい本が県立図書館にあるかどうか調べてから、中央図書館で取り寄せてほしい、と依頼するケースがかなり増えました。インターネットの普及はかなり大きいです。県立図書館と新潟大学附属図書館は、利用しても本人負担は一切かかりません。</p>
瀧川委員	テキストや資料を持って図書館へ行って調べてもらっています。

大橋委員	<p>今の学生は自分で買いません。お金の使い方が変わってきています。</p> <p>2ページの貸し出し冊数について。 新穂や畑野はすごく高くなっています。新穂は新しくなったから、と想像がつきますが、畑野が3.78倍となっている要因は何ですか。</p>
中濱係長	<p>畑野は平成28年度までは、無人の図書室で、専門の職員は1人も配置されていませんでしたが、29年度から職員配置をして本の整理も進み、探したい本は職員に聞けるようになり、29年度の時点でかなり伸びました。そこからさらに、職員もいて相談にのってくれると広まり、冊数の増に繋がっているのではないかと思います。</p>
大橋委員	<p>相川、赤泊は2倍を超えています。職員配置と関係あるのですか。</p>
中濱係長	<p>図書室全て28年度までは無人で土日閉館でしたが、29年度からは職員配置に加え土日も開館となりました。</p>
大橋委員	<p>羽茂は逆にマイナスになっていますが。</p>
中濱係長	<p>羽茂は図書室の中で飛び抜けて利用者が多いです。小学生が、学校が終わると何人かの集団で集まり時間を過ごし、借りてくれている形でしたが、子どもの数が減っているため伸びていません。</p> <p>また、土日より平日の方が、利用が多いです。29年度から木曜日休館日にしたため、木曜日の夕方利用していた子達が利用できなくなりました。</p>
木村会長	<p>羽茂自体も増床ということで広がっています。学校や休みの関係があるということですが、全体としてはいい傾向になっています。</p>
引野委員	<p>4ページの来館者数について。</p> <p>新しい新穂図書室は学習スペースが広くなりました。新穂は小さい学校の割には伸び率が大きいです。学生の心をつかんでいるのかなと思います。</p> <p>逆に両津図書館はあのスペースで、あの広さ、もっと来館者が増えているかと思っていましたが、利用が少ないです。</p> <p>ターゲットをどこにあわせているのでしょうか。新穂、両津の2つは新しくなっているが見えてきていません。学習スペースがあるのなら中高生コーナーや生涯学習コーナーなどを増やしてくれれば新しくなった意味もあるのかなと思います。逆に他の図書館(室)は、</p>

	<p>建物自体は新しくありませんが特徴をつかんで数字に表れてくれればいいなと思いました。</p>
木村会長	<p>両津の人もまだ慣れていません。読書スペース、多目的室も本来は防災のための部屋ですが、その辺の使い方で悩みがあるのではないのでしょうか。今後改善していけばいいと思います。</p>
引野委員	<p>駐車場は駐車券を取るシステムなので構えるところもあります。ハードルはあります。</p>
中濱係長	<p>5ページについて補足します。 平成29年度の来館者数、中央図書館の9月分が他の月に比べて落ち込んでいますが、配管の故障で10日間ほど閉館せざるを得なくなり数字が落ちています。</p>
木村会長	<p>9ページから、かなりの回のお話会があります。市報の中にも図書館コーナーがありますが、だいたい紹介されているのですか。</p>
中濱係長	<p>毎月定期的にやっているものは、市報には載せていません。クリスマスや夏休みの特別なものは、市報や図書館のホームページ、イベントカレンダーに載せています。</p>
木村会長	<p>図書館を利用しない人でも目には触れます。これだけの数があると、かなりのボランティアの方が協力してくれています。</p>
大橋委員	<p>12ページのこどもの読書週間、この間の来館者は分かりますか。</p>
中濱係長	<p>今年度の数字はまだ把握していません。 わくわくシール倍増週間というのがあり、小学生以下のお子様が図書館(室)で通常2冊借りるとシールを1枚もらえ、50枚、100枚溜まると〇〇賞という形で賞状を渡すサービスを行っています。期間中は、1冊借りると1枚となります。</p>
瀧川委員	<p>来館者数はどのようにして出しているのですか。</p>
中濱係長	<p>中央図書館と新しくなった両津図書館は、入り口に機械があってその間を人が通るとカウントしてくれる仕組みです。他の図書館(室)は職員がカウントしています。</p>
	<p>(2) 令和元年度佐渡市立図書館事業計画について</p>

中濱係長	資料説明
木村会長	14 ページ移動図書館の件。今のメンバーだとこれ以上無理ですか。
中濱係長	2千冊載せる移動図書館車なので活用も考えていきたいです。運転手と貸し出し返却対応できる職員の2人は必ず乗っていかなくてははいけません。
木村会長	いいことはたくさんやりたいけど、そうなるとう業務負担になってしまいます。
木村会長	停車場所どこですか。
中濱係長	決まった場所があります。何時から何時まではここの停留所、ここの建物にいますと、あらかじめ決まっています。
小松委員	着くと音楽が流れるのですか。
本間主事	移動図書館車が来たと音楽とアナウンスでお知らせしています。
小松委員	そこでアナウンスしても民家がないので、行く途中にアナウンスすると分かりやすいです。
本間主事	行く途中だと鳴らしながら走る必要があります。
小松委員	地域柄、真冬にならないと借りる人は少ないでしょう。
本間主事	あらかじめ予約をしておいて、移動図書館車が来る日に合わせて貸し出しをしたり、常連の方が待っていてくださることもあります。
大橋委員	1人でダメな理由は何ですか。
源田館長	運転と本の貸出がありますが、1つには車が大きいことがあります。運転は普通免許で可能です。ただ、遠隔地まで行くこと、図書 のやり取り、何かあったときの場合の対応も考えると、1人でというのは避けたいです。
木村会長	かなりの本を積んでおり、運転も結構大変です。

中濱係長	<p>ルートの中にそれぞれ小中学校、保育園があり、そこで団体貸出となると、一斉に子どもたちが来ます。昼休みの時間にやらなくてはいけないので、1人で全部は厳しいです。また、初めて借りる方やカード忘れの対応、本の貸出だけではなく相談もあるなど、いろいろな作業があるので1人は厳しく、2人以上で行かせてもらっています。</p>
大橋委員	<p>どのくらいの頻度か分からないですが、1人になれば予算を増やさずに回数を増やすことが出来るのではないのでしょうか。</p>
瀧川委員	<p>本のことについて話す人と、お客さんを相手にされる人がいないと、貸し出すことに集中できません。対応年齢が低い時だと時間もかかってくるから、2人いたほうが安心だと思います。</p> <p>どのゾーンをターゲットにした本を何%積んでいますか。小学校以下の子どもたちが対象だと難しいかなと思います。バスのあるべき姿では無くなると思います。</p>
瀧川委員	<p>31年度ゴールデンウィーク全く休みなくフル稼働で開館していて、職員人数見ると増えてなく1人や2人の体制です。フォローという形でまわしているのでしょうか。</p>
中濱係長	<p>基本になる方が1人いて、休みのときは代わりの職員が数名います。</p>
瀧川委員	<p>休日も図書館が開いていることはありがたいですが、いつも顔ぶれと一緒に職員の休みが大丈夫かなと心配になりました。1回やってみたもののやっぱり無理となってしまうのは勿体ないです。</p> <p>学生向けに学校に配布して張り出して、地域の図書館やっています！とアピールしないと、せっかく頑張っているのに、利用者が知らなくて使えないとなると勿体ないです。</p>
木村会長	<p>教育事務所があるから、各学校に配れる体制も出来ているので考えてほしいです。</p> <p>(3) 平成30年度子ども読書活動推進計画について</p>
中濱係長	<p>資料説明</p>
木村会長	<p>各学校に派遣されている司書の方にこのデータは流れているのですか。</p>

中濱係長	まとめた結果は学校にはお示ししたことがないです。
木村会長	30年度は92%ということで、あと1、2校がやっていません。やっていない学校はこれを見て、他校がやっているのだからうちもやらないと、と思います。学校司書との連携として考える方向はあるのですか。
源田館長	学校と連絡を取りながら、次のステップにつなげるのは必要です。こういった形で出来るかは別として、連携しながらやって行きたいと思います。
木村会長	せっきく学校司書がいるのですから、情報提供は必要です。ただ要求するのは学校の都合もあります。
木村会長	100%達成しているところは、数値目標を考えなければいけないでしょう。
	(4) 佐渡市立図書館ビジョンについて
源田館長	資料説明
瀧川委員	佐渡の人づくりを支える地域の拠点とありますが、少子化になり、最初に読み聞かせということで本に親しみます。そこから学校任せになって、その後生涯学習になります。佐渡から1回出て、島外の図書館であっ！というものを体験して帰ってくると、どうしてもその図書館と佐渡の図書館を比べてしまいます。そこで人づくりを支えるということが今抜けています。少子化と言っても、いい人材が育ち、佐渡を支えてくれるとありがたいです。
源田館長	ビジョンについては完成形です。このあとこういった施策と事業展開を10年間組み立てていくかについては、この後こういったものをやっていきたい、その結果がどうなるか、それをどう活かすか、検証しながらいいものに持っていくという形を作る必要があります。
木村会長	PDCAという言葉が使われています。私達の任期は2年ですので2年単位で考えたほうがいいのでしょうか、毎年やる必要があるのでしょうか。

	(5) 今後の事業実施計画等について
源田館長	資料説明
大橋委員	今後の方向の取り組みについて、これから議論するということですか。
木村会長	こういう方向で考えたかどうか、それを受けて第2回目の協議会までに新しい項目、数値目標も入れる、ということを提示したいです。これでいいかではなく、こうあった方がいいのではないかということをお話したいです。
大橋委員	この内容は決定しているものだと思います。事業内容等にこういったものを入れたらどうかというものであれば分かりますが、どこまでを議論したらよいか分かりません。
渡邊教育長	<p>図書館ビジョンとして出したものは今後の方向性というものも含めて出してあります。項目を見てもらうと分かると思いますが、今後の方向性で大きな1番、佐渡に暮らす子どもたち、施策1. 2. 3がその前に入っています。この内容は全てビジョンに入っています。</p> <p>これからPDCAをまわしてチェックするというのは、今年はこのくらい出来たけど来年はこうしようと、最終的な目標はこんなふうにして、ということで年間ないし数年を通してビジョンがPDCAをまわせばいいという話です。</p> <p>施策1でこんなことをするともっと充実する、というのがあればご提案をいただきたいです。また、これ以外に何かあるのではないかと、そんな話があれば是非お聞かせ願いたいです。</p>
大橋委員	つまり、項目の部分について新たに追加とかではなくて、事業内容等について他にいい事業があるかどうか、というふうにとればよろしいのでしょうか。
渡邊教育長	予算の関係もあるので全部が実現するわけではありません。
大橋委員	10年間の部分を考えますが、項目ではなく、事業の内容等について他の取組等がないかを協議すればよいということですね。
木村会長	実際に数値目標を作る際に、項目が多いと評価が大変になります。

<p>関根副会長</p>	<p>なるべく絞り込んでいかないといけません。</p> <p>誰もが利用しやすい図書館、利用しやすく優しい環境づくりの中で、高齢者向けのイベントを開催し利用方法を周知ということで事業内容があります。こちらのほうで高齢者向けのイベントを毎回行うのは非常に難しいと思います。各地域公民館活動の中で高齢者の方を対象とした事業等は、すでにやっています。こちらから提案だと業務量が増えるので、関連するような催し物のときに出向いて一緒にできるような活動をしていただければと思います。1日だけでも図書館(室)を利用した講座を組んでもらうとか、現在地域にある図書館(室)を実際に見てもらうとか、そのような事業を組み入れてもらえれば、図書館(室)としては一石二鳥になるのかなと思います。大きな活字の本ありますよ、とか紹介するだけでも興味の持ち方が違うので、そのような取り組みをしていただけると、もっとアピールできるのではないのでしょうか。</p>
<p>関根副会長</p>	<p>知っている方は、図書館(室)はいいものだと分かっています。それ以外の方にも、もっと来ていただけるといいと思います。</p>
<p>瀧川委員</p>	<p>子どもの学びと成長への支援ということで学習サポート。どこでやっていたか分かりませんが、学習室を開放して、生涯学習をやっている60代、70代の方たちが、小学生の夏休みの宿題を見てあげるということをやっていました。講師の方を呼ぶのではなくて、生涯学習の一環として子どもの宿題見ませんか、とボランティアを募集するのはどうですか。図書館を使ってほしいゾーンが抜けています。そこをうまく繋げられないのでしょうか。</p>
<p>瀧川委員</p>	<p>図書館(室)にはたくさんのいろんな本がありますが、知る機会がない小学生や若い先生が多いです。夏休みの宿題で、ボランティアとか募集をかけられないのでしょうか。新しいビジョンでやるのであればそういう方向性もいいです。佐渡の人材も資源だし、あるものを、お金をかけずにうまく使って、大人目で子どもたちに本物を伝えるものです。</p>
<p>木村会長</p>	<p>そのような会をやりたいと言うと会場が問題ですが、新しく建てられた両津図書館や新穂図書室にはそういう部屋が間違いなくあります。中央図書館も毎日ではなくても部屋を提供できますよね。小木図書室も2階が学習室兼で仕切りを置けば可能ですよね。</p>
<p>中濱係長</p>	<p>単独の図書館以外でも、佐和田は図書館スペースは狭いですが公</p>

<p>瀧川委員</p>	<p>民館と一緒にあって、2階が開放できればそういったイベントも可能かと思います。</p>
<p>木村会長</p>	<p>60代～70代はまだ現役ですから、すごくおもしろい取り組みだと思います。</p>
<p>金子課長</p>	<p>工夫次第によっては減免して使わせてもらって、学習サポートの部屋も考えられますし、高齢者のイベントの会場としても使えます。減免申請はできますか。</p>
<p>瀧川委員</p>	<p>市長が認めた場合があります。やられる団体がどういう意図でやるのかを判断します。</p> <p>今後の取り組みも、方向の細かい事業の内容等に記載するというのであれば、当然図書館が来る内容の計画のため、そこに載った自主計画であれば、教育委員会が絡んでいく必要があります。そうすれば減免というよりも主催、共催の形になると思います。</p>
<p>木村会長</p>	<p>自由研究や総合学習のところ、ただ資料の貸し出しだけと考えないでいきましょう。</p>
<p>金子課長</p>	<p>自由研究については理科センターでは標本の同定などやっていますが、研究内容の指導はやっていないかもしれません。総合学習は行き詰っていたらアドバイスというような形で。</p>
<p>瀧川委員</p>	<p>図書館(室)からの観点で見っていますが、社会教育課の全体から見ていると博物館の資料館があります。ジオパークもそうですが、専門の学芸員がいます。委員が話されているときは、街の中にいるそれぞれの専門家というイメージで捉えていました。そんな感じがいいですか。</p>
<p>本間委員</p>	<p>そこまで大々的ではなくて、保育園と老人ホームが一体となっているようなイメージです。2～3人のボランティアがこの部屋にいてちょっと見てもらえるくらい。大掛かりなものだと続かないから夏休み2～3回の方で考えていました。誰もが利用できる図書館として。現役を退きましたがまだ子どもたちと関わりを持ちたい人が受け入れるくらいがいいです。</p> <p>高齢者は役に立ちたいですが、やり方が分かりません。それを、子どもたちの宿題や面倒を見ながらなど、そういうきっかけを作ってくださいると大勢の人が集まるのではないかと。</p>

本間委員	<p>個人的に考えていたのは地域の集まりがあるところで、そのようなことがやればいいと思っていましたが、それが図書館で本を利用しながらという名目になれば、なお素晴らしいと思います。みんな何かをやりたいができないでいます。</p>
木村会長	<p>ハローぶっく号の利用の促進で、別のやり方をやりましょう。学習サポートの件、高齢者向けのことにもう少し配慮がいるのではないのでしょうか。</p>
大橋委員	<p>誰もが利用しやすい図書館、施策2の図書館の効率的な運営ということで、図書館ごとの機能の充実とあるが、現状の図書館(室)での事業を考えているのですか、10年後を見据えた整備を示しているのですか。</p>
渡邊教育長	<p>当分の間は現状の施設を維持しながらやっていくということですが、人口減少が進む一方、ネットワークも進んでいます。これからの図書館(室)をどうするか、10年後までを決めることはなかなか難しいでしょう。今はある程度維持しながら、情報通信が進んでどこでも繋がるようになっていっても優れた機能を持つ拠点は必要です。10箇所と同じことをやっても意味がありません。それを考えると中央の図書館の位置付けというのは強化していく必要はあります。どこの施設を整備する、これから10年間の方向付けしますよ、ということは今時点ではお諮りしがたい。</p>
関根副会長	<p>住民アンケートの実施、サービス内容の定期的な見直し、地域の声を反映した図書館運営とありますが、せっかくアンケートをとられてもそれに対して全部こたえるのは不可能です。でも、「アンケートやったけどどうなったのか」と思っている方に対して、何かの機会に、1つ2つこう改善したと知らせると、少しでも努力してくれているのだと見えると思います。改善したのであればまた行ってみよう、という気持ちになります。どんどんアンケートを活かしてもらいたいです。</p>
瀧川委員	<p>アンケート、学校に「どんな図書館を望みますか。」と学校規模でできませんか。そこが利用していません。中高生の実態が知りたいなと思います。</p>
木村会長	<p>土日休みだったり、図書室は閉館が5時です。学校が終わってからだと、図書室は閉まっているということで使いづらかったです。</p>

	<p>しかし図書室を6時閉館にすると人員配置が大変なことになります。働き方改革というものに逆行することになってしまいます。開館時間を遅らせればいいのでは、と思いましたが、9時には行列が出来ています。開館を遅らせると家庭にも影響は出ます。中高生の利用を促進するには色々と大変です。しかし土日祝を開館してくれるのは非常にありがたいです。</p> <p>(6) その他</p> <p>次回の日程、10月中には行いたいと考えています。</p> <p>今日の意見を踏まえ、次回までに叩き台を示して、これは1年かけてこれは2年かけて、というものを作って行きたいと思っています。</p>
源田館長	
関根副会長	閉会のあいさつ